

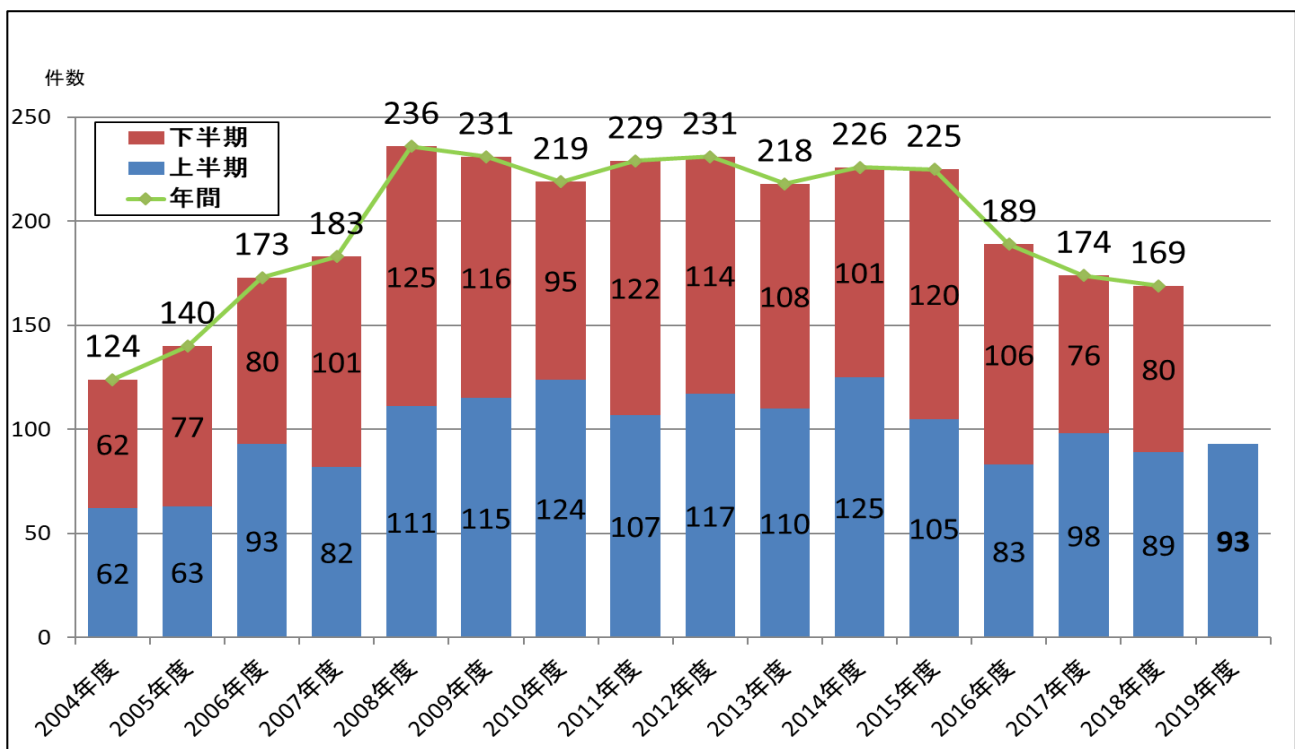
鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (2019年度上期/大手民鉄16社)

日本民営鉄道協会では、大手民鉄16社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における2019年度上期（4月～9月）6ヶ月間に発生した鉄道係員（駅係員・乗務員等）に対する暴力行為の件数について集計を行いました。発生件数は93件で、昨年同期と比べて4件増加しました。

暴力行為が発生する状況としては、鉄道係員が迷惑行為を注意した時や、はっきりとした理由が見当たらないケースが多く、時間帯については夜・深夜帯（17時以降）に集中して発生しています。また、加害者年齢は幅広い年代に分布しており、飲酒している場合が多いことが見受けられます。

犯罪である暴力行為をなくし、安全で快適な鉄道を維持するため、当協会では引き続き啓発ポスターの掲出など各種の取り組みを実施してまいります。

年度別発生件数



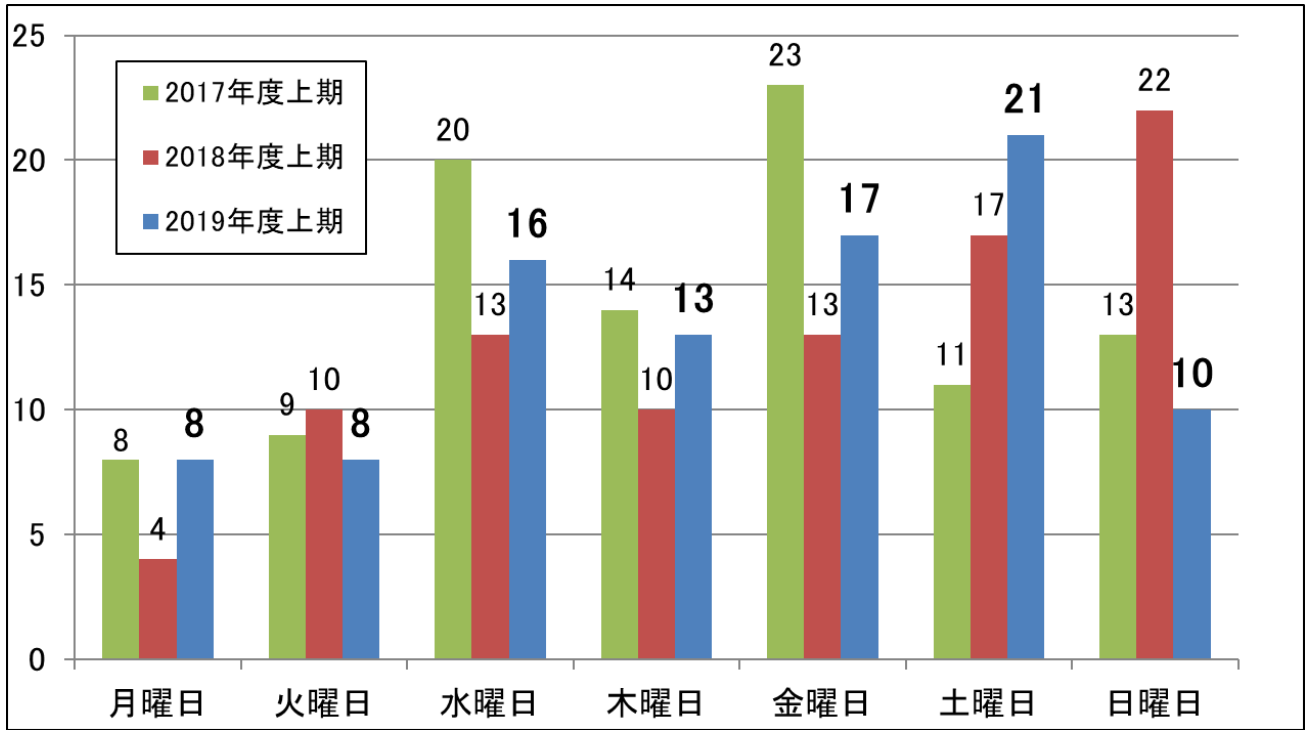
(参考) 以下の項目の集計結果を別紙にて紹介しています。

1. 曜日別 発生件数
2. 時間帯別 発生件数
3. 主な場所別 発生件数
4. 主な契機別 発生件数
5. 加害者年齢
6. 加害者の飲酒状況
7. 具体的事例

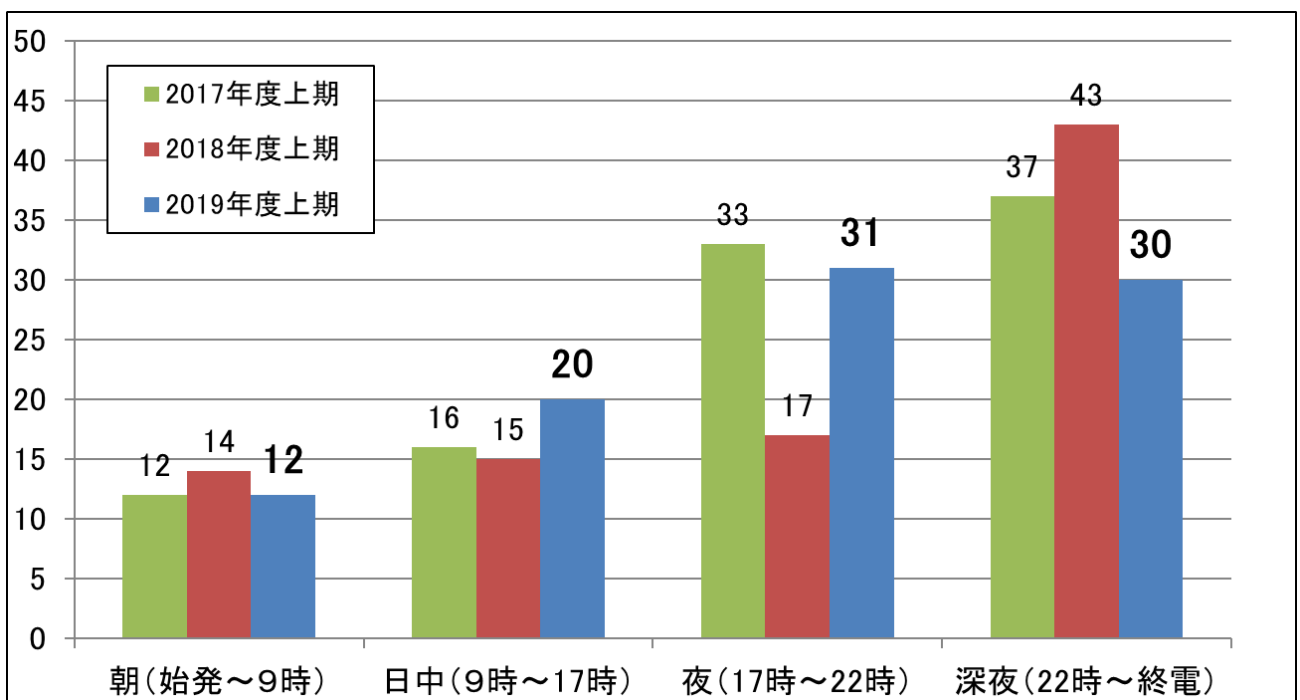
※なお、別紙に記載しているデータ以外は、公表しておりません。

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体的事例等(詳細)

1. 曜日別 発生件数

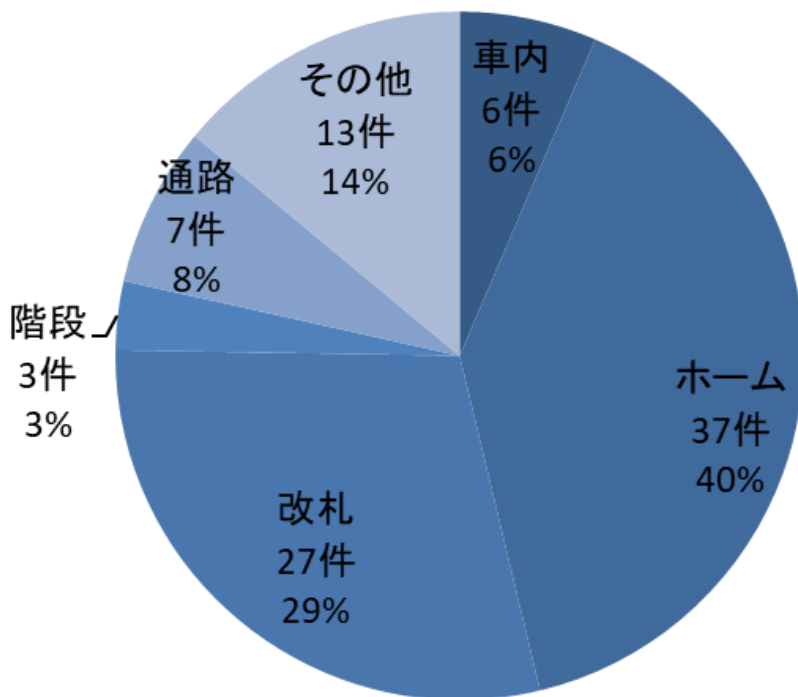


2. 時間帯別 発生件数

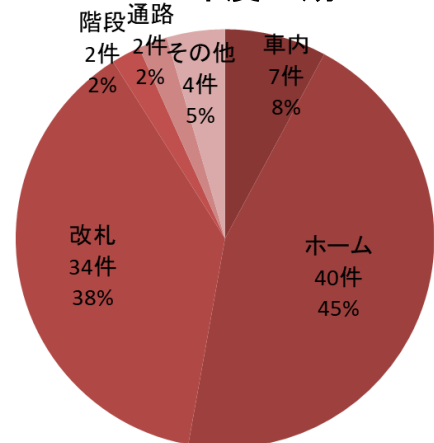


3. 主な場所別 発生件数

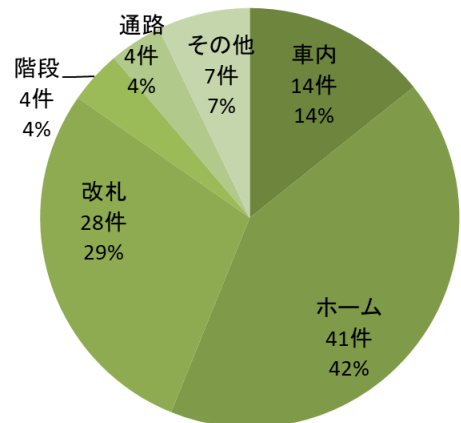
2019年度上期



2018年度上期

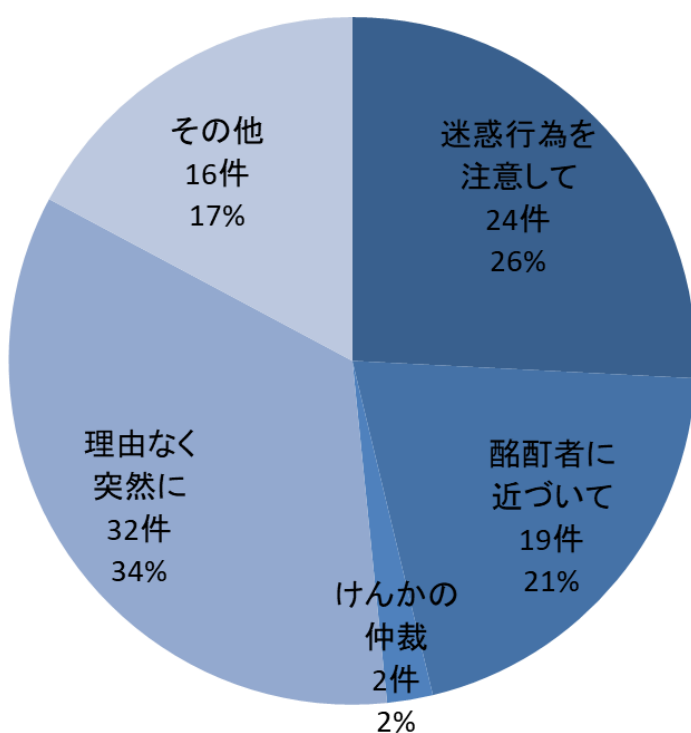


2017年度上期

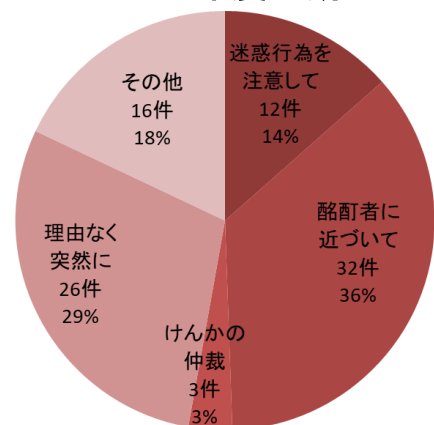


4. 主な契機別 発生件数

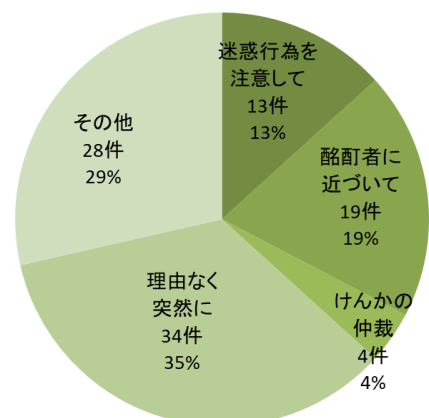
2019年度上期



2018年度上期

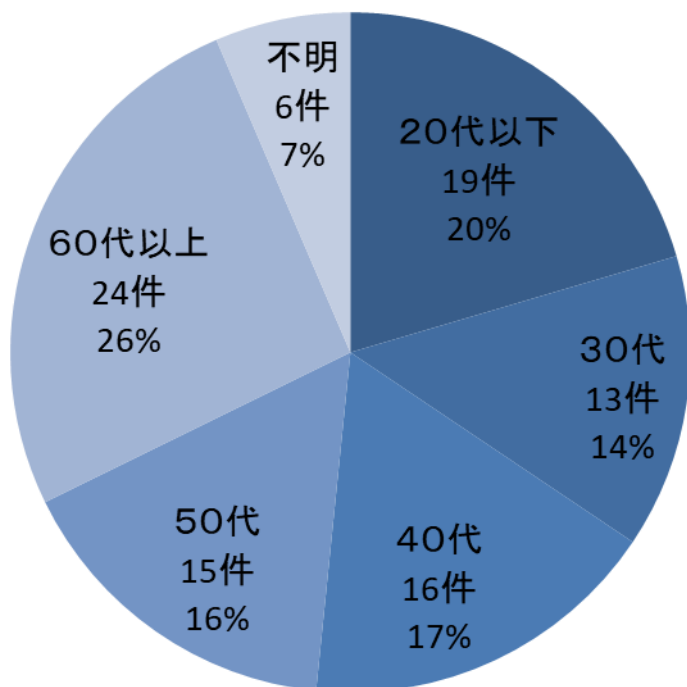


2017年度上期

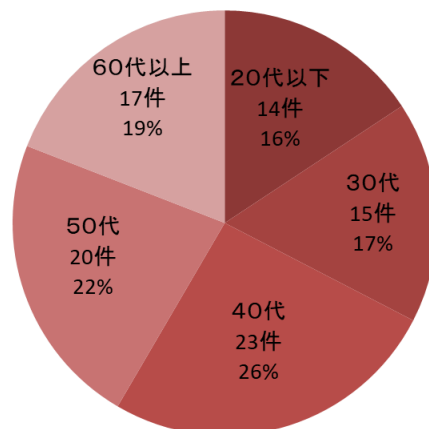


5. 加害者年齢

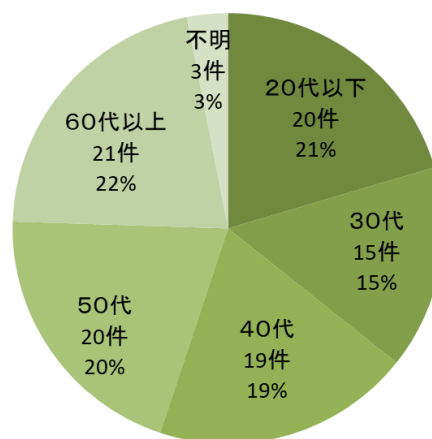
2019年度上期



2018年度上期

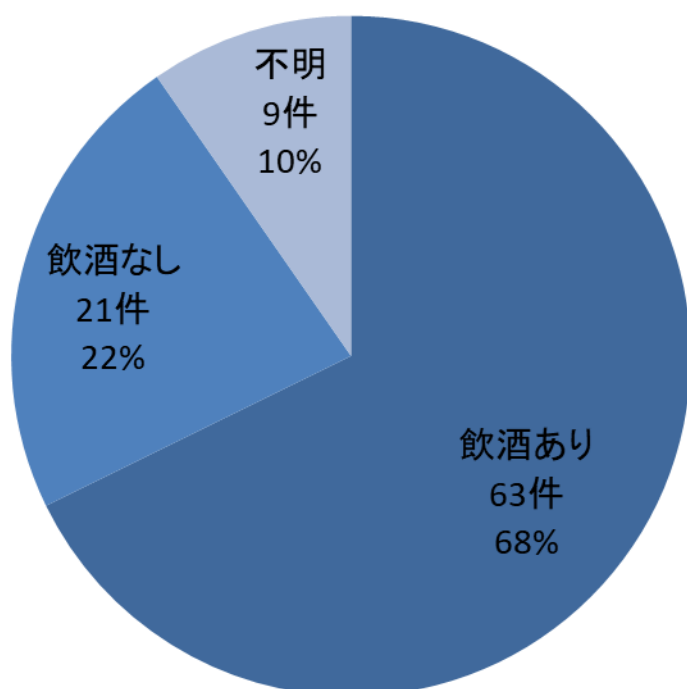


2017年度上期

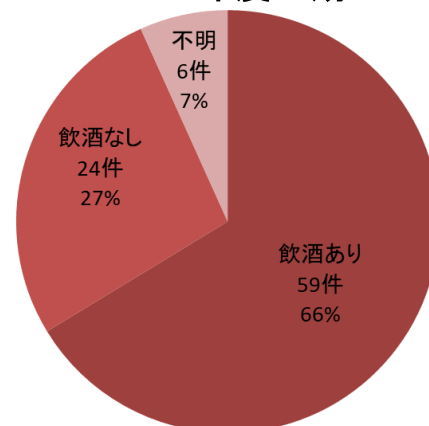


6. 加害者の飲酒状況

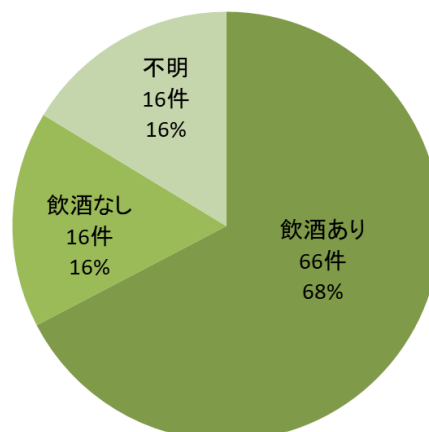
2019年度上期



2018年度上期



2017年度上期



7. 具体的事例

【事例1】

曜日	土曜日	時間帯	朝 (始発～9時)	場所	車内
契機	酩酊者に近づいて	年齢	20代	飲酒	あり

乗務員が、折り返し駅の列車内において、座席に寝ている人に声をかけたところ、胸倉を掴まれ暴力行為を受けた。

【事例2】

曜日	火曜日	時間帯	夜 (17時～22時)	場所	改札
契機	迷惑行為を注意して	年齢	30代	飲酒	あり

駅係員が、券売機を叩いている人に声をかけたところ、突如顔面を殴打された。その後も暴れ続けたため、加害者を抑えようとしたが、さらに暴行被害を受けた。

【事例3】

曜日	日曜日	時間帯	深夜 (22時～夜中)	場所	ホーム
契機	理由なく突然に	年齢	40代	飲酒	あり

駅係員が、ホームにて終車立ち合いをしていた際、加害者が柱にもたれかかりスマートフォンを操作していたため、行き先を尋ねたところ、いきなり足を蹴られ、殴りかかられた。

【事例4】

曜日	金曜日	時間帯	夜 (17時～22時)	場所	車内・ホーム
契機	酩酊者に近づいて	年齢	不明	飲酒	あり

駅係員が、ベンチに横たわる人に声をかけたところ、一方的に平手打ちを受けた。加害者は到着した列車で逃走し、車内で騒いだため、次駅到着後、運転士が注意したところ、暴力を受けた。止めに入った駅係員と他駅から応援に駆け付けた駅係員もそれぞれ暴力を受け、計4人が被害を受けた。